

医療費抑制と医学部定員削減、医師卒後臨床研修制度により、地域医療は深刻な医師不足に陥りました。結果、この1年間で県内の中小規模の数病院が姿を消しました。

県北の救急指定病院の状況を見ると、人口11万人の津山市で2カ所、人口3万6000人の新見市は1カ所だけになりましたが、人口5万2000人の真庭市では、中小規模の7病院が救急指定を受けています。

私どもの地域では7年前から、旧落合町内

ご近所のお医者さん

66

緑社会・金田病院(真庭市)
金田 道弘院長(54)

役割分担で地域医療支える

の当院、落合病院(味 地域医療の維持と発展 禁泰明院長)、河本病 院(河本英世院長)が、 などの毎月話し合い、



情報交換しています。真庭保健医療圏では 現などが考えられま
そこで得られた結論は 医師会を核に、病院、 ず。
「役割分担し、協力し 診療所、消防の連携を 医療崩壊がこれ以上
よう」ということでし 図っており、08年の真 進むことは、地域崩壊
た。当院は県保健医療 庭消防一次搬送のう につながる認識され
計画の脳卒中医療連携 ち、圏域内医療機関へ 始めています。医療は
体制下で、超急性期の 搬送が79%でした。 地域の共有財産であ
専門的診療が24時間可 重症者の圏域外への紹 り、住民と医療者が力
能な「急性期A」施設 介先は岡山、倉敷、津 を合わせてつくりあげ
に、津山中央病院とと 山の医療機関です。ド ていくものだと思え
もに県北で認定されま クターへの活躍も特 います。【楡山佑二】
した。診療科目、当直 筆すべきものです。今
医の情報医師会、消 後は周辺圏域を含めた 「納得の安心医療を真
防、保健所に公開し、 県北全体の救急医療体 庭から」をスローガン
速やかに対応できる態 制の再構築、ドクター に、住民にとつてな
勢が整っています。 への24時間運航の実 てはならない病院であ
り続けること目指す。

真庭市西原33。☎08
67・52・1191。